

自己評価報告書

2011年5月13日現在

機関番号：24201
 研究種目：若手研究（B）
 研究期間：2008～2011
 課題番号：20710193
 研究課題名（和文） 滋賀県の近現代史における在日朝鮮人・朝鮮に関する基礎研究
 研究課題名（英文）
 研究代表者
 河かおる（KAWA KAORU）
 滋賀県立大学・人間文化学部・講師
 研究者番号：30316939

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：東アジア、在日朝鮮人、滋賀、地域社会、朝鮮、植民地

1. 研究計画の概要

本研究は、滋賀県の近現代における在日朝鮮人の歴史、および滋賀県の近現代史にとって植民地朝鮮が持った意味を明らかにするための基礎的研究を行うことを目的とする。同時にその作業を通じ、「地域」から「世界史」を見通すこと、「地域」における歴史の記憶と忘却の有り様を考察することを目的とする。本研究が扱おうとする問題系は大きく二つある。一つは「地域史」に於ける「外地」という問題、もう一つは「地域史」に於ける在日朝鮮人という問題で、両方とも人やモノの越境が伴う。これらの問題について、6つのサブテーマを設定し、滋賀県という地域に即して実態を解明し、理論的考察を行う。

2. 研究の進捗状況

本研究の初年度に、申請時に設定した6つのサブテーマに加え、滋賀県内の捕虜収容所の歴史も本研究の目的に照らして重要であると気づき、研究対象とすることとした。その上で、これまで以下のようなことを行ってきた。

(1)資料調査：滋賀県県政史料室所蔵資料調査。国立国会図書館憲政資料室所蔵GHQ／SCAP資料調査。国立公文書館所蔵資料調査。大津市歴史博物館所蔵の『新大津市史』編纂時収集写真資料調査。自治体史執筆委員として閲覧の便宜が得られる旧能登川町関連の資料調査。県内の捕虜収容所に関する資料調査。その他聞き取り調査。

(2)研究成果のアウトプット：主に以下のこと

を行った。シンポジウム「行ってみよう！滋賀の朝鮮学校へ」（主催：同実行委員会、2009年6月28日開催）に実行委員として企画運営に携わり、パネリストとして発表、当日配布資料の編集作成にあたった。河かおる・稲継靖之「滋賀県の近現代史のなかの朝鮮人」『大学的滋賀ガイド』（昭和堂、近刊）を執筆した。自治体主催の研修会等での講師依頼を受け研究成果に基づいて講演した。

3. 現在までの達成度

④遅れている。

（理由）勤務校に2012年度に設置される新しい学科にかかる改組の直接当事者となったため、開設準備等、大学運営面に費やすエフォートが多くなり、本研究申請当初に想定していた本研究に対するエフォート（30%）の維持が実質上難しくなったため。

4. 今後の研究の推進方策

申請者が滋賀県について執筆担当となっている朝鮮人強制連行真相調査団編『朝鮮人強制連行の記録－関西編』の発行予定が遅れているので、本研究遂行にあたって設定したサブテーマのうち、「②1945年以前、滋賀県内で朝鮮人がどのような労働に従事し、徐々に定住に向かっていったかについて」、および「③強制連行の実態について」を引きつづき調査研究し、まとめる。

『東近江市史』『能登川町の歴史』第三巻（近現代史）の調査執筆委員として、旧能登川町域の在日朝鮮人に関する調査をひきつづき行う。

特にサブテーマ⑤「敗戦後に在日朝鮮人が行った民族教育について」と関連して、滋賀朝鮮初級学校の協力を得ながら、敗戦後の民族教育に直接携わった方々にインタビュー調査をするとともに、滋賀朝鮮初級学校において公開の学習会を開催したい。

滋賀県の在日朝鮮人に関してその間に収集した新聞記事および各種資料のデータベースを作成する。

5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計1件)

河かおる「朝鮮近現代史に関するデータベース」『日本歴史』740巻, 41～48頁, 2010年

〔学会発表〕(計2件)

河かおる「【書評】水野直樹著『創氏改名—日本の朝鮮支配の中で』(岩波新書,2008年3月)」朝鮮史研究会関西支部会、2008年11月
河かおる「大日本帝国の総力戦遂行とジェンダー・民族」、シンポジウム:「韓国併合」100年・女性国際戦犯法廷10周年—脱帝国/脱植民地のフェミニズムをめざして、2010年7月

〔図書〕(計2件)

河かおる「近代」田中俊明編『朝鮮の歴史』(昭和堂、2008年)共著
河かおる・稲継靖之「滋賀県の近現代史のなかの朝鮮人」『大学的滋賀ガイド』(昭和堂、近刊)共著

〔その他〕

河かおる「地球市民、しが(47)『多文化共生』について考える」『じんけん』325、2008年5月

河かおる「【書評】日韓「女性」協働歴史教材編纂委員会編『ジェンダーの視点からみる日韓近現代史』『女性・戦争・人権』9巻, 149～160頁, 2008年

河かおる「【書評】水野直樹著『創氏改名—日本の朝鮮支配の中で』(岩波新書,2008年3月)」『朝鮮史研究会会報』174巻, 20～22頁, 2009年

河かおる「滋賀県在住在日コリアン高齢者の生活実態に関する調査報告書」滋賀コリアン生活サポートセンター、2009年10月

河かおる「在日コリアンの歴史とニューカマーの現状を教育から探る」『滋賀の人権教育研究紀要』2009, 1巻, 59～76頁, 2009年

以下のような講演等の場で研究成果を社

会に還元した。

【2008年度】

多民族共生人権教育センター第9回総会記念講演「「多文化共生」「国際化」って何だろう? — ただのキャッチフレーズにしないために」(5月)、2008年度第2回人権ゆかりの地フィールドワーク「戦争と平和! 滋賀にある捕虜収容所跡等を探る」(8月)、滋教組湖東第1・第2支部教育研究集会「近現代の中のアジアと日本の関係 — どう知った上で子どもと向き合うか」(10月)、竜王町人権教育推進協議会 2008年度人権啓発セミナー第3回現地研修(10月)。

【2009年度】

シンポジウム「行ってみよう! 滋賀の朝鮮学校へ」(主催: 同実行委員会、2009年6月28日開催)に実行委員として企画運営に携わり、パネリストとして発表、当日配布資料の編集作成にあたる。

びわこ南部地域人権啓発連続講座「在日高齢者は今 多文化共生社会をめざして、今滋賀では」(5月)、綾羽高等学校教職員人権研修会「他者への想像力 — 在日外国人と共に生きるために知っておきたいこと」、近江八幡小学校夏期人権教育研修バスツアー講師、全人教分野別研究会全体会講演「在日コリアンの歴史とニューカマーの現状を教育から探る」(7月)、地域リーダー養成講座「共に生活するうえで大切なことはなんだろう」(8月)、守山中学校・高等学校教職員人権教育研修「在日外国人問題と人権教育」、近江八幡市職員人権啓発講座「外国人の人権について — 近江八幡市多文化共生推進指針の策定にむけて」(11月)。

【2010年度】

草津市男女共同参画セミナー「戦時下における女性の人権～民族の視点から考える～」草津市立人権センター(9月4日)、石山高等学校第2学年人権教育統一 LHR「在日外国人の人権問題」県立石山高等学校(11月24日)、甲賀市柏木公民館人権教育講座(館外研修)「戦時中の外国人に対する強制労働」(1月30日)、校内人権教育職員研修会「朝鮮民族学級設立の歴史的意義とその経緯」彦根市立平田小学校(3月7日)、滋賀レイカディア大学第32・33期生必修講座「滋賀県近現代史の中の朝鮮人」(米原校3月10日、草津校3月18日)